

ブランド化推進のため補助金の上積みは

制度の中身を精査

問 転作の補助金として麦、大豆、ソバ等や飼料用米の水田活用作物を栽培する農家に、作付面積に応じた転作奨励金が支給されているが、今後は収穫量に応じて支払う仕組みに変わるとのことである。関税撤廃になると非常に大きな影響がある。今後、町として

ブランド化推進のために補助金を上積みする考えは。
町長 これまで転作、水田再生協議会等で那須町の転作、米の生産すべて管理してきた。その中で国による交付金等によりさまざまな転作奨励策をとってきた。飼料作物の作付け誘導であったり、町振興作物の上乗

せというようなこともしてきたが、基金があったという形でできたが、財政的にも大変苦しい状況が続いているので支援策ができるかどうか、これから改正される制度の中身を精査して検討する。

継続的な景観改善は

撤去改善に費用の一部助成

問 誘導看板の設置に関する取り組みについて、町の景観条例制定後、行政の指導努力によって街並み

景観はかなり向上した。さらに統一感を出すため、景観審議会の充実が望まれるところである。継続的な景観改善の取り組みは。
建設課長 平成20年4月1日に那須町景観条例を施行後、景観計画を定め、那須町独自の景観形成基準を満たすよう指導して現在に至

っている。また、那須街道を始めとした主要路線、これらに乱立していた誘導案内看板については景観を損なう大きな要因になっていた。屋外広告物改善事業により、看板の撤去改修等については費用の一部助成を行い景観の改善に努めている。

景観の改善には廃屋整理も課題に

